貳十四孝の詩並びに由来の記

（唐二十四孝）

[illegible]

[illegible]
御掌にのせて掌の義乃義
[illegible]皇女英乃二人の姉妹を后に
御[illegible]濃り[illegible]なり

漢文帝

漢乃高祖の御子なり[illegible]
[illegible]中[illegible]
紀[illegible]
漢延年[illegible]
[illegible]一二の白[illegible]文帝乃[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

湯桑は親みなむとて母たちをこしめして湯桑
食物はなほ自ら業して進ぜんかの
後は四百餘列の天子かとしのかうの御年八
十まりしかは世はあまくに出家ましまし
ぬと云ふ陳平周勃なんと云ける臣下佐命
の則御門ふるまひ
まる云ふ後は世代もゆくりふ武帝の
年は帝の御年なりとぞ

老子

楚國の人なり又周の代の人なり列仙傳

のたまひ云はれたまへ仏法は男女貴賤
藏棄愛憎春風動條衣
双親開口笑高堂迎閨
中綿つこの人なり周室いとまの
ものなり三世の白ら親の為ぐ
びたるる代は世藏章橋藏也まもる
けは橋をたまれまもる云
おはらけるまの御所をまする
らごりまとは緑をいろどる
しをつくしい云ふの
たるまれけるふ乗用ごと
云ふ動まを面白ことの世なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

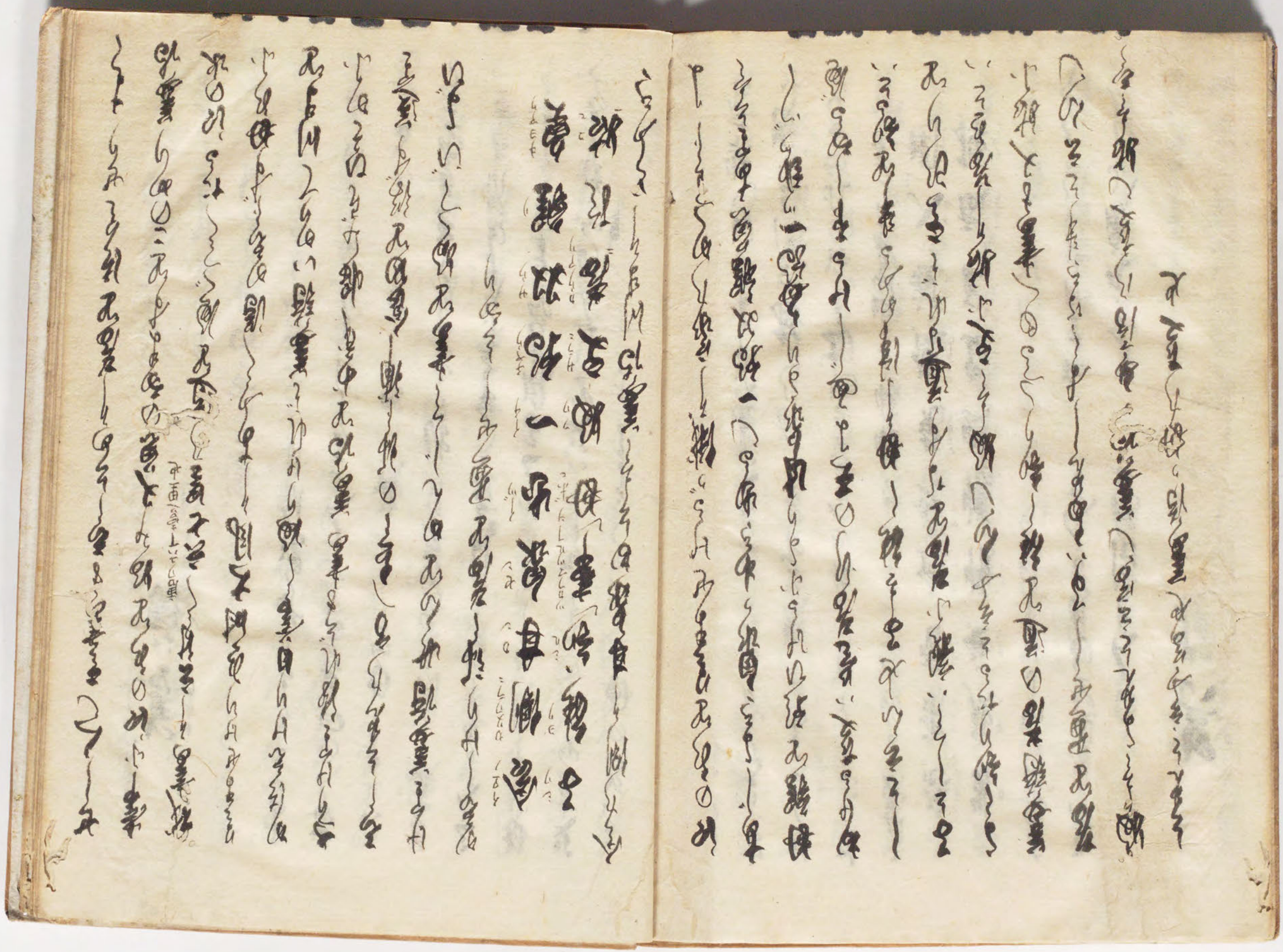
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



異極

[illegible]の人を傳記せしに八歳より[illegible]
[illegible]道を初めれる人なり[illegible]
[illegible]

費庾安帷帳数多只敢揮
恐渠膏血飽免使親因入園

[illegible]帳[illegible]数[illegible]
[illegible]
[illegible]

天地の性を人のもとすと人の行ひ善なり
大いなる悪なりとも恥なければ悪しかるべし

董永

漢の代の人にして家貧しく孝行なる者なり父の
葬をして貧にして自身を賃に売て自身を
雇ひ送りける人に父の債を償はんとて
父の葬をなすあたはざりしかば天帝の使
織女下りて董永が妻となりて
父の債を償ひ終て去る

父の葬をなすあたはざりしかば天帝の使織女下りて董永が妻となりて
父の債を償ひ終て去る

織女の事

天帝の使織女下りて董永が妻となりて
父の債を償ひ終て去る

織女の事

織女は天の織女星なり
しかるに天の織女星の織女
の事なり漢の人織女
の事を一日の内に織
りて織りかたちを出して
織女の事を
織女星の織女
の事なり

子曰孝德之本也

唐夫人

崔南とゝ人乃妻し崔八性に居士陵とゝ高乃惜
陵の人し夫人を婦人歳先て万げ食事歯て
乃ものず世級ー稲又乳を飲ませて育じめ
飲ゝ小しゝて学問を習せとなり
孝敬崔家婦乳姑晨盥梳
姑恩無比類頼得子孫如
若敬崔家の婦ゝゝ乳姑ゝ

置ゝ敬ひ世ます事し夫人の婦ゝゝ崔南う
書ける乃ものゝ乳ゝ川ゝ小ゝ
ゝゝ世ゝ婦ゝ乳ゝ
ゝゝゝ世ゝ乳ゝ
鶏初ゝ鳴ゝ白ゝ世ゝ流りめぐ
身小ゝ世ゝ婦ゝ乳ゝ
世ゝ婦ゝ
世夫人ゝ世ゝ婦ゝ
ゝゝ世ゝ恩ゝ
婦世ゝ婦ゝ
敬じゝ世ゝ恩ゝ
ゝ婦ゝ世ゝ

[illegible]

楊香（ヤウキヤウ）

豫國の人、心十又の時、父と山中に行て飢る虎に逢ひけり。急なる事なれば、楊香、父を隠さんとして、虎に向ひ、[illegible]

親をたすけ給へ。我身のがれしめ給へ。

源山（シン）遥（ヨウ）白額（ハクガク）

父子（フシ）俱（トモ）無（ナシ）恙（ツヤ）脱（ヌケ）身（ミ）飢口中（キコウチウ）

虎、楊香が言葉を聞て、[illegible]

又、弟の事を言あしく、[illegible]

と云ふ。婦人、[illegible]

いかりたる事、せい風の如し。父子、[illegible]

弟、[illegible]

楊香、[illegible]

恙なくありしと云へり。人の身小なりといへども、[illegible]

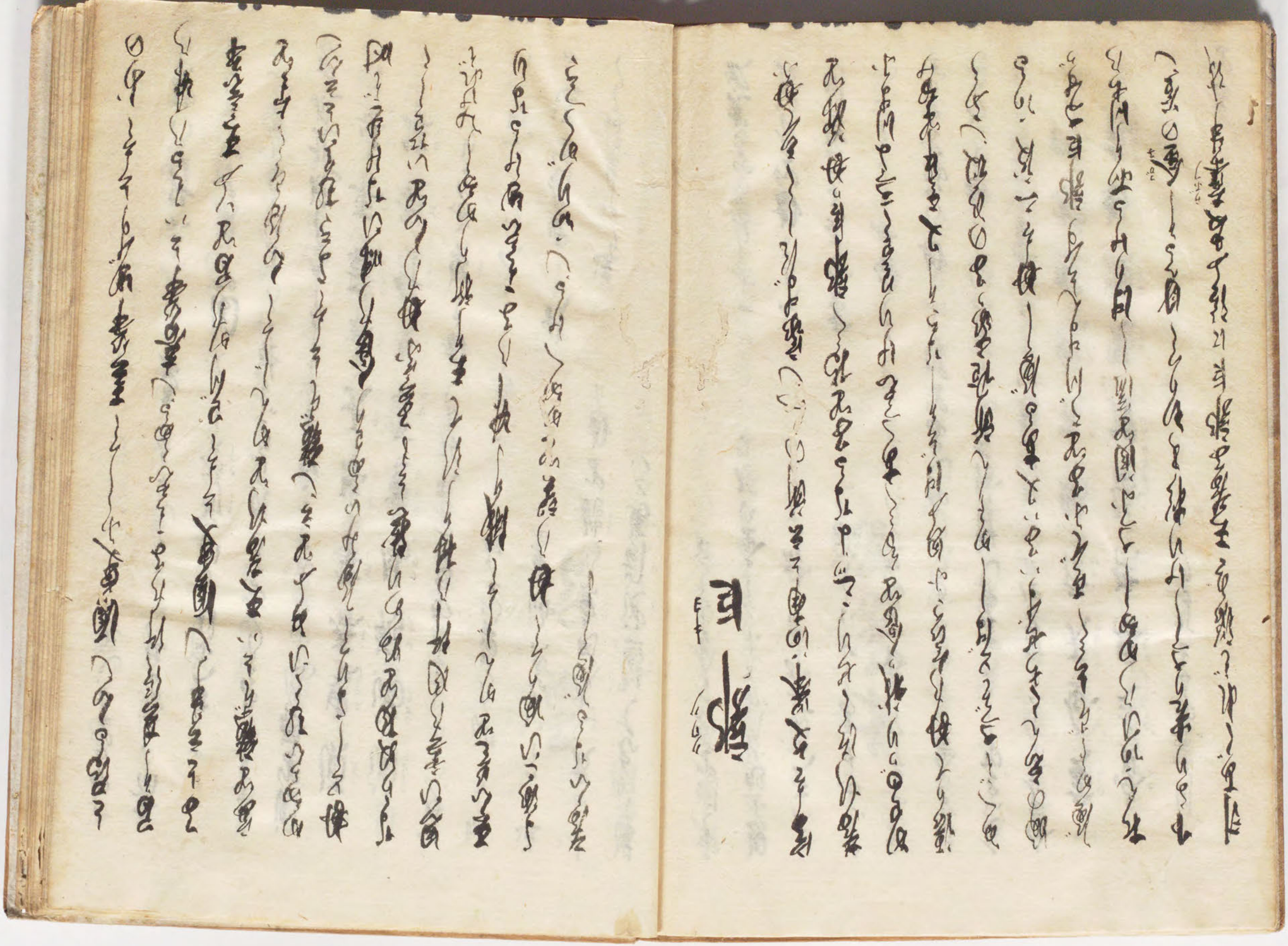
なる事、[illegible]

こゝのうちに、[illegible]

たる庵の人ぞ[illegible]ん[illegible]ると云ふなり
すぞよ親子のかぎり第の四月中ゆ入る[illegible]なる
あ[illegible]ら[illegible]所し[illegible]の[illegible]
庵[illegible]書[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

蓮宗

[illegible]人なり晋の國[illegible]八帝[illegible]
[illegible]池司馬といふ[illegible]なれり池[illegible]
する[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



をぐれ所なる事を清ぐれと書りこれよりそなる也
こゝにまぎれなりと

貧乏思供給埋児預母恵
黄金天所賜光秋照寒門

貧乏にして供給せし事思ひそなへ貧乏なれども
色ハ黄金のごとくなる色ハ母の恵ひとハ母の
恵なりとの意也 光秋ハ寒門の光を照すなり
ますます母の恵ハ寒門の光を照すなり世にいつ
とハ天道部屋の神の天より授所
思ひ出ばかりなり 金の色ハ母の恵ひ
事にいとなりの光秋
寒門を照すなり 色ハ黄金なり

今天より金の釜を授りし故光秋寒門を照し
富貴の身となるなり

朱雀昌

宋の天長代乃人也七歳の時父羅列乃守護と
なりし時百姓の女かり母なりて朱
雀昌の母出せし文より五年の間母見ぬ
と朱雀昌かなしみ 母乃神家乃氏代
女郎に於て我が母ハあるべい家に海ごとく身
より血出ぬ 經を書て天
まりしとなげ涙あひけり 時母乃年七十 小

[illegible]れり世[illegible]所の[illegible]優せんいはんと云人
[illegible]て[illegible]門[illegible]
[illegible]の[illegible]天下[illegible]れ[illegible]

七歳生離母參高玉十年
一朝相見面充氣動皇天

七方生[illegible]離母[illegible]ッの時父の母[illegible]
參商[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

母指繰方喰児心痛因レ禁

頁薪海東晩骨肉至情源

母指繰て方ふ喰ふて第冬の留る小人雷りけれど
今痛れどもと思ひて母のひじ出かゝるし繰ふ喰と
いふとかたるし児心痛しでもあるとすると児をちご
といふ字ふくゝゝゝゝゝしゝ第冬しゝ心ハ母親しふの第冬
こりて居けるふ儀ゝ母親ハ母親ぐいゝあみて居ごたる也
母ハ痛れどもと思ふ一合と第冬の中繰て繰ふ乃
心と通じゝ骨肉ふ自然て海ふ第冬ふ海り居る骨肉ふ母親ふの
骨肉ふ心骨ハ初始めて骨ハ母ふ骨肉ふ骨ふて
母ハ初始ふ骨ハ骨肉ふ骨ふて骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ
しゝゝ骨ひじ出かゝるれど骨ふ痛ふゝゝゝゝゝ

こりたるハ骨ふ初始ふ骨ハ初始ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ
骨ふ心骨ふゝゝ骨第冬の骨ふ骨ふ人ふ骨ふ骨ふ骨ふ
心ふ骨ふの骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ
骨ふゝゝゝ親骨ふゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
骨ふ天道ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ骨ふ

王祥

魏乃代の人いとけなくして母に離れ又又
書を習ふ第冬ひけり継母の骨ひなれど
父子の中を骨ふゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ふゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

徒毋人間首王祥天下無至令河水上一片冰模

徒毋人間よりあり、けひばをいふものの人間の中にあるひしとなりあり王祥ことなり、はまあるよりあり、けいばをいふものハ世をふ沢あり、まあるをもあり、ゆくゆくハ鯉あるの王祥の母ハ病ありて、ものハ、天下ふなりと、ものハ、ものハ、ものハ

蔡順

漢の代の人なり河南と云所より俗行る人なり父ふ
[illegible]て朝夕[illegible]と云もの孔を掘こて
天下孔く飢饉なれば食事ふ足し母乃為ふ
桑乃実を拾ひ求めしに人こ

黒穂春親闇喰飢潤満衣
赤眉和尚孝順牛米賜若敗

黒穂赤眉いよいよ盛なりこれ共に世の中の
乱れ和国小乱なれば人ハ飢饉なると云ふ飢よ
喰て潤満衣と云ふ和尚孝順牛米賜
くみ給ふ敗ぬ敗ぬ和尚孝順
母を知るとて[illegible]びい[illegible]の母乃ばかり母為
ぬる蔡順を蔡順を[illegible]ん[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

一説にあり、[illegible]せるとし、[illegible]人の物を[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]

庾黔婁

南齊の時の人、[illegible]縣令と云ふ所の官人にして
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

王裒

晉の國王裒といふ人父母[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

丁蘭

河内の野王と云ふ所の人、十六の時、母に別れけり

いかゝして母のかたちを本像に作りて、ひるは
いとゝあるゝ時、夜は夜のあくるを待ちて、丁蘭
とゝもすがらに本像に面をこがしけれども、ひとり
もれうせず流れけり。二日ばかり丁蘭、髪を
ときかたちをかへ、ふかく歎きて本像の
告げるを、天道くまなしとは、
三年ばかりこゝをさりけるに、一夜、獄門の
ものくりけりとて、
本像のかたちをくりけるを、
別れ来て為に慈母の容を目の前
の言葉、諸子の恩、ねんごろに養育の親
の恩、なぜりとて、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けり漁夫問りて曰く食せずして彼所に
行けり其の漁者其を聞て又あとより行て問ハ
漁夫答へまく二人食するゆゑ我食せず
教て曰ク其ハ何ゆゑ云ハまく京師より乃
弱道なりとて旅いそ事しけり是を食よ
ばるゝと云こ搜肥とて痩せる肥こゝろ
云なし人皆是を食りとて人ゆゑ誰も知
是のなりハ者ト知ら如く乃如思ひあひなハ
り義と云なし漁夫ハ帰ると云ふ
如く是ハ是ハ是ハ是ハ是ハ
漁人ハ是ハ是ハ是ハ是ハ
ハ是ハ是ハ是ハ是ハ是ハ

田真　田廣　田慶

昔人ハ是ハ是ハ父死て板戦ハ是ハ
和けり是ハ是ハ本ハ是ハ是ハ
是ハ是ハ是ハ是ハ是ハ
是ハ是ハ是ハ是ハ是ハ

梅庭雲　棚　羅芳　隱　尿　如
春風　花　漫　樹　晃　光　後　田　居

梅庭雲棚羅芳隱尿如
春風花漫樹晃光後田居

[illegible]

陸績（リクセキ）

呉の国の人に遊述（ユウシツ）と云人あり明（モト）[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]